

（配布先）

支店長・副支店長
施工担当部署長、建設所長
副部長、副所長、統括工事長、工事長、工事主任、安全長、安全主任
関西支店取引業者災害防止協議会

関 西 支 店
安全環境部長

「特別インフラ損傷事故防止期間」について（指示）

先週、他部門の再開発に伴う解体工事作業所で、油圧式多機能大口径削孔機による地中障害物撤去作業中、地中埋設高圧ケーブル（66,000V）を切断し、約2km四方におよぶエリアを停電させるという広域インフラ損傷事故が発生しました。当該エリアには金融機関、大型商業施設、医療機関などが多く存在し、現在、被害状況を調査中ですが、企業存立の危機にもつながりかねない事案になります。

重要な高圧ケーブルにもかかわらず、その位置情報管理及び周知に不備があったもので、このような事態が発生したことは深刻な危機感をもって受け止めなければなりません。

関西支店にはこのような広域に影響を与える作業所はありませんが、すべての作業所に何らかのインフラが存在します。

つきましては、インフラ損傷事故撲滅の意識を高め、下記の通達指示事項をタイムリーかつ遺漏なく実施するため、9月17日（金）～9月30日（木）を「特別インフラ損傷事故防止期間」と定めることとしましたので、期間中、部門、部署、作業所、取引業者が一体となって、再発防止策を実効的に展開するよう指示します。

記

1. 部門幹部による特別巡回の実施

該当作業所は労働衛生週間の幹部特別巡回で巡回しているため、インフラに特化した特別巡回は実施しませんが、下記事項を実施し記録を残すようにして下さい。

2. 現場管理責任者による一斉点検の実施（記録を残す）

点検項目：(1) 事前調査で図面と現物を確認（試掘・現地実測）
(2) インフラの状況を全員に周知（掲示・周知会等）
(3) 現地への見える化表示の徹底
(4) インフラ近傍作業中の監視による作業手順の厳守

3. 「作業所における防止策」周知会の実施（記録を残す）

※ 添付資料1：「特別インフラ損傷事故防止期間」ポスター
（通常版及びデジタルサイネージ版）

添付資料2：広域停電を発生させたインフラ損傷事故の概要

以 上

(配布先)
関係部門長

通達(安環安)21-16
令和3年9月15日

建築総本部長
(安全環境総括)

土木総本部長
(安全環境総括)

インフラ損傷事故防止の再徹底について（緊急指示）

先週、再開発に伴う解体工事作業所で、油圧式多機能大口径削孔機による地中障害物撤去作業中、地中埋設高圧ケーブル(66,000V)を切断し、約2km四方におよぶエリアを停電させるという広域インフラ損傷事故が発生した。当該エリアには金融機関、大型商業施設、医療機関などが多く存在し、現在、被害状況を調査中であるが、企業存立の危機にもつながりかねない事案である。

重要な高圧ケーブルにもかかわらず、その位置情報管理及び周知に不備があったもので、このような事態が発生したことは深刻な危機感をもって受け止めざるを得ない。

については、インフラ損傷事故を撲滅するため、部門長の直接指揮のもと、下記の再発防止策を実施することを強く指示する。

記

1. 部門幹部による特別巡回の実施

2. 現場管理責任者による一斉点検の実施

- 点検項目：(1)事前調査で図面と現物を確認（試掘・現地実測）
(2)インフラの状況を全員に周知（掲示・周知会等）
(3)現地への見える化表示の徹底
(4)インフラ近傍作業中の監視による作業手順の厳守

3. 「作業所における防止策」周知会の実施

以 上

インフラ損傷事故は生活上の支障や重大な経済的損失をもたらす公衆災害です

添付資料1

工場等の業務停止

近隣街区等への影響波及

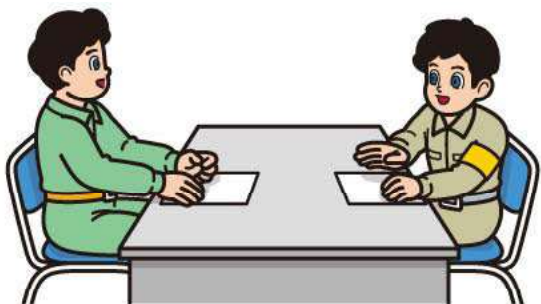
事故撲滅

9月17日～30日は 管理体制の総点検

特別インフラ損傷事故防止期間

協議

計画前に、インフラ企業者と
不明点・連絡体制などを確認。



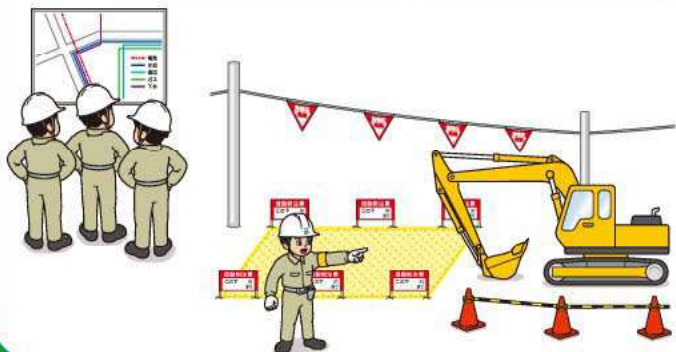
調査・立会・試掘

調査には、インフラ企業者の立会を要請。
試掘は手掘りで!!



見える化

調査・試掘結果を色分けするなどして
わかりやすく表示・周知し、維持管理する。



手順の周知・厳守

予定外の事態ではいったん作業中止。
安全確認できるまで再開しない。





事故撲滅

特別インフラ損傷事故防止期間

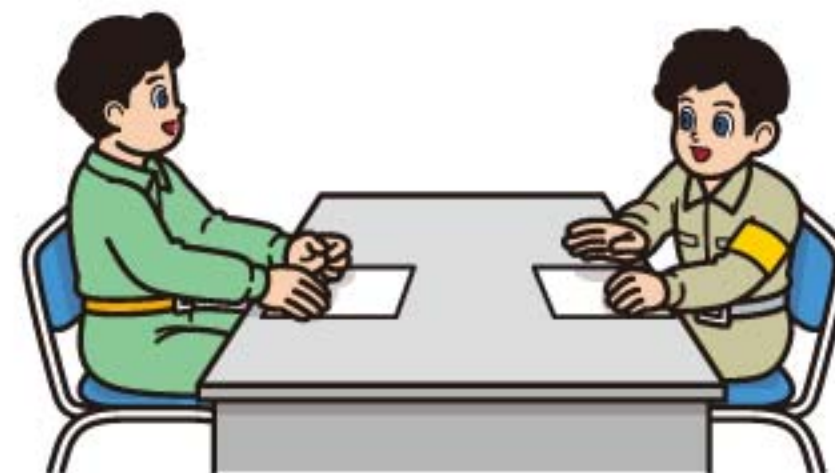
9月17日～30日は
管理体制の総点検

インフラ損傷事故は生活上の支障や
重大な経済的損失をもたらす公衆災害です



協議

計画前に、インフラ企業者と
不明点・連絡体制などを確認。



調査・立会・試掘

調査には、インフラ企業者の立会を要請。
試掘は手掘りで!!



見える化

調査・試掘結果を色分けするなどして
わかりやすく表示・周知し、維持管理する。



手順の周知・厳守

予定外の事態ではいったん作業中止。
安全確認できるまで再開しない。



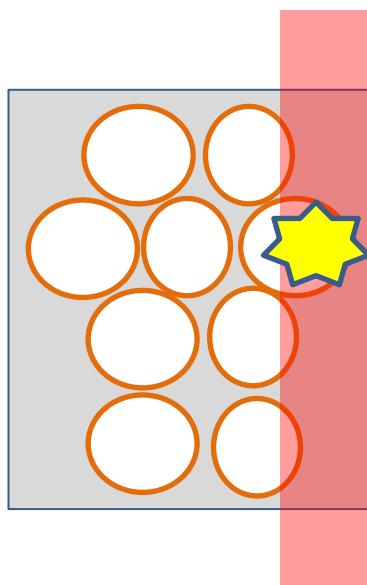
SHIMIZU CORPORATION

SHIMIZU

安全環境本部

(インフラ損傷事故) 埋設高圧ケーブル(66,000V)を切断し停電が発生した

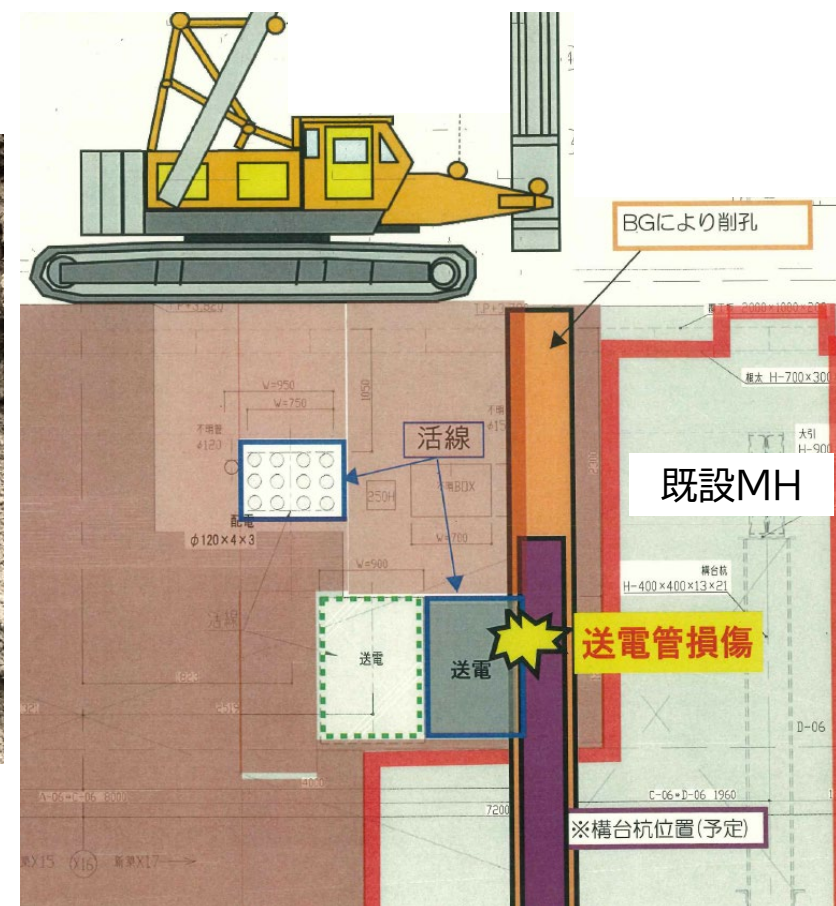
◇ 発生日時 : 2021年9月10日 (金) 午後 3時27分頃



高圧ケーブル 断面図



損傷状況 写真



【発生状況】

構台杭打設のための地中障害物撤去作業中(BG機ケーシング削孔)、地中埋設高圧ケーブル(66,000V)を損傷し、約2km四方のエリアを最大5分程度停電させた。
作業前に試掘して、ケーブル位置(青実線)を確認していたものの、位置情報が正しく伝達されなかったため、図面作成時に誤った位置(緑破線)に記載されていた。